

■お申し込み

<第1回> 10月4日(日) 渥美郁子さん 内野有子さん
<https://kokc.jp/e/terakoya36/>



<第2回> 11月1日(日) 岡 恵さん
<https://kokc.jp/e/terakoya37/>



<第3回> 12月6日(日) 神原久美子さん
<https://kokc.jp/e/terakoya38/>



<第4回> 1月17日(日) 藁科誠さん 亀山幸平さん
市川成章さん 房前俊介さん
<https://kokc.jp/e/terakoya39/>



■講師紹介

【第1回】 渥美 郁子(あつみ いくこ)さん 内野 有子(うちの ゆうこ)さん

2名とも、静岡市立認定こども園の園長として「Child First」の立場に立った保育実践、チームの心理的安全性の保障、保護者支援、関係機関との連携・協働、地域における子育て家庭支援などに積極的に取り組んでいる。静岡市では令和6年度より「保育ソーシャルワーカー事業」が創設され、全国的にも希有な事業スタイルのもと、先駆的な実践に挑んでおり、全国でも注視されている。内野さんは当時、静岡市内の全こども園のあり方をマネジメントする課に出向しており、本事業の意義と必要性をいち早く認識し、予算事業化を実現させた中軸メンバーである。

【第2回】 岡 恵さん(おか めぐみ)さん



6歳の頃から地元(新宿・渋谷)の性的搾取産業や児童買春に問題意識を持ち、高校時代より啓発活動に取り組む。上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士前期課程では、性的搾取を目的とした人身取引について調査研究。以降、人身取引(性的搾取)、AV出演や性産業従事、デジタル性暴力に関する相談支援の現場に従事。相談支援の現場に寄せられる声をもとに、政策提言や講演活動にも取り組んでいる。2014年より人身取引禁止ネットワーク(JNATIP)運営委員。共著書に『ポルノ被害の声を聞く——デジタル性暴力と#MeToo——』など。

【第3回】 神原 久美子(かんばら くみこ)さん

長野県出身。社会福祉士。地元保育士養成校を卒業後、大正7年創立の社会福祉法人上田明照会に入職。障がい者支援施設、障がい児通所施設、認可保育所、相談支援事業などの現場に従事する。現在は同法人理事を務めるとともに、令和7年度より受託した「長野県障がい児等療育支援事業」の療育コーディネーターとして、こども支援現場への巡回訪問や療育支援に尽力している。障がい児通所施設と認可保育所では、すべてのこどもたちの思いを感じ取り、悩み、試行錯誤しながらも、それを具現化しようとする職員の支えとなっている。



【第4回】 藁科 誠(わらしな まこと)さん 亀山 幸平(かめやま こうへい)さん 市川 成章(いちかわ しげあき)さん 房前 俊介(ふさまえ しゅんすけ)さん

4名とも静岡市立公立小学校の教師。房前さんは現在、教育委員会の指導主事として出向中。全員が「CFS (Child First Shizuoka) の会」のメンバー。この会には、こどもたちを取り巻く現実(教育、福祉、心理など)を憂慮している若き世代の教師、こども家庭センターの福祉職、児童相談所の心理職、SSWr、保育SWrなど、約30名が参画している。会では、「ケアする人のケア」の視点のもと、参加者が「素の思い」を語り合うことを基軸とし「対話」のなかでの気づきと学びを大切にしながら、「こどものウェルビーイング」の保障のために何が出来るかについて思索し、おとなとしての責務を問い、具体的実践を希求している。